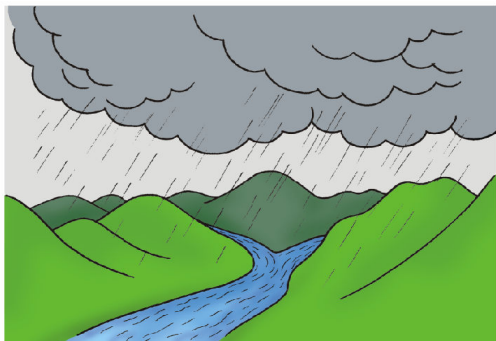
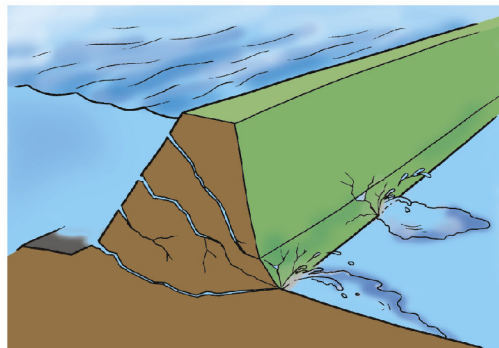


洪水発生メカニズム

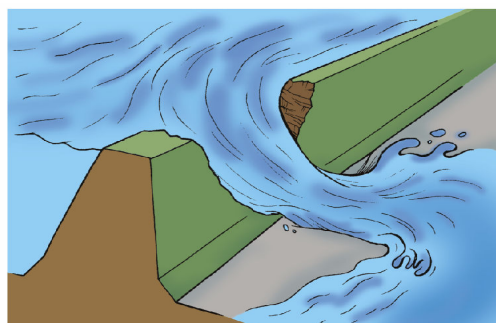
【外水氾濫】



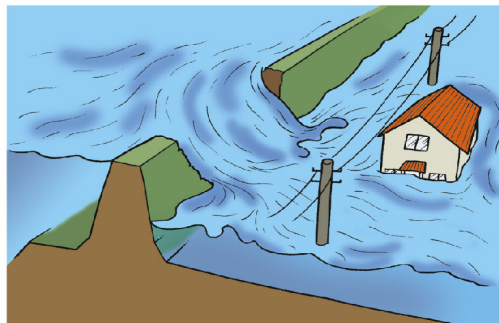
大雨や雪解けによって、川の水の量が増え、水かさが増え始めます。



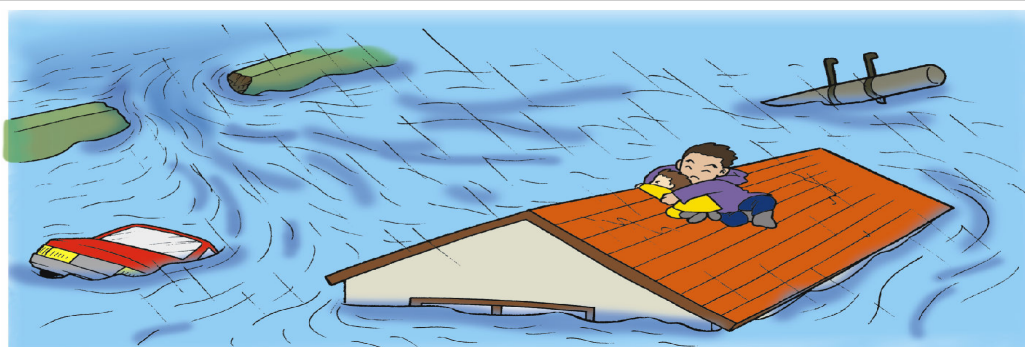
堤防いっぱいまで水が増えると、土でできた堤防に水の圧力がかかり始めます。



水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなると堤防の一部が崩れ始めます。



堤防の崩れた場所をとって、勢いよく水が流れ出し、家に襲いかかります。



堤防から流れ出した水は、場所によっては家を破壊・流出したり、車を浮き上がらせたりしながら広がります。水が浸水して来るとすぐ水かさが高くなり、歩行が困難になります。

【内水氾濫】

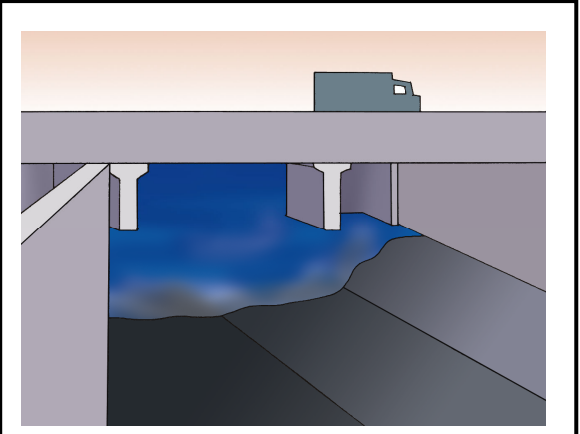
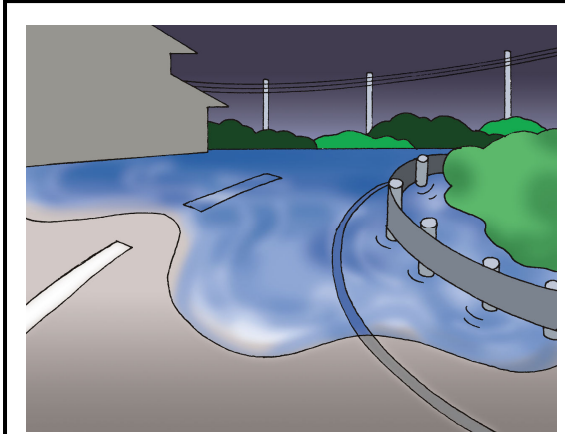


街などに降った雨は、下水道などをお
って川に排水されます。



大雨が降ると川の水位があがり、排水さ
れずに下水道などが溢れてしまいます。

【その他の氾濫】



その他にも大雨が降ったとき、道路の側溝が詰まったり、道路の低くなっているところに
水がたまったりしても氾濫は起こります。